2026 年 10 月 27 日

各　位

会 社 名　北 興 化 学 工 業 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　　佐野　健一
（コード番号　4992　東証スタンダード）
問合わせ先　常務執行役員企画部長　榎本　浩巳
（TEL 03-3279-5151）

当社岡山工場からのベンゼン等を含む排水の流出にかかる業績への影響の見通しに関するお知らせ

当社岡山工場からのベンゼン等を含む排水の流出事案（以下「本事案」といいます。）につきましては、近隣地域・住民の皆様、漁業関係者、行政機関その他関係者の皆様に、ご心配とご迷惑をおかけしており、深くお詫び申し上げます。

本事案の概要等につきましては、2026 年 10 月 23 日付「当社岡山工場からのベンゼン等を含む排水の流出について（第３報）」においてお知らせしておりますが、これまでの進捗状況を踏まえ、本事案が 2026 年 11 月期の当社通期連結業績に与える影響の現時点での見通しについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．業績に与える影響額の見通し

当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づき、排水設備の修繕費用、本事案への対応にかかる土壌・水質の調査・分析費用、地下水汚染の拡散防止対策費用等を、３億円程度（対策引当金の計上を含む）と予想しており、2026 年 11 月期の通期連結決算において特別損失として計上する予定です。

なお、2026 年 11 月期の第３四半期連結累計期間において、特別利益として投資有価証券売却益 237 百万円を計上していること等を踏まえ、上記特別損失計上による 2026 年 11 月期通期連結業績予想の修正はありません。

また、再発防止に向け、当社岡山工場内の排水構造の改良・再配置を今後２年程度で計画的に進めていく方針です。これら設備投資（５億円程度と予想）については、来期以降に固定資産として計上する予定であり、本件特別損失額に含めておりません。

今後、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかにお知らせいたします。

（2026 年 11 月期連結業績への影響額の見通し）

	金額（億円）	備考
特別損失	３	・排水設備の修繕費用、土壌・水質の調査・分析費用、地下水汚染の拡散防止対策費用等（対策引当金の計上を含む）

【ご参考：2026 年 11 月期連結業績予想（2025 年 12 月 1 日～2026 年 11 月 30 日）】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
当期予想	52,000	5,200	6,100	4,460	173.00
（ご参考）前期実績（2025 年 11 月期）	49,125	4,913	6,083	4,452	169.90

＊上記予想は 2026 年 1 月 13 日に公表しております。

以上